

ひづみ

学校教育目標「ふるさとに誇りをもち、心豊かで主体的に生き抜く日積っ子の育成」



日積小ホームページはこちらから

回覧 令和7年5月28日
柳井市立日積小学校 ☎ 28-0012
柳井市日積6951 FAX 28-0148

行事を通して成長する子どもたち

校長 賀屋 陽子

第21回日積ふれあい運動会が開催されました。天候不良のため、順延しての開催となりましたが、ご来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、中学生の皆さん、そしてひづみ保育園、日積小学校が一堂に会して、運動会を予定通り開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

例年とは違い、初めての5月開催でした。熱中症の心配は例年ほどはありませんでしたが、暑さに体が慣れていないこの時期の練習にも、子どもたちは一生懸命取り組みました。

1年生にとっては入学後間もない開催でしたが、上級生の中に混じってよく頑張りました。朝早くから体操服に着替えて一輪車の練習をし、こけても果敢に挑戦するたくましい姿が見られました。

2年生以上の子どもたちも一味違いました。自分の目標を決め、休み時間に進んで一輪車の練習に取り組む子どもが増えました。1年生の手を取って練習したり、コツを教えたり、できたら一緒に喜んで喜んだり…、そんなやさしい上級生の姿が見られました。今年のチャレンジ目標である「苦手にチャレンジ」と「ぼかぼか行動」を、運動会の練習の場でもたくさんの子どもが意識できたこと、大変うれしく思いました。

6年生にとっては小学校生活最後の運動会でした。5年生と協力しながら、練習だけでなく準備や係の仕事にも取り組みました。きびきびとした動きや返事の声の大きさはもちろん、いろいろなアイデアを出し合って工夫して作り上げ、声を限りにやり切った応援合戦は本当に素晴らしく、下級生のお手本となりました。みんなで考えたスローガン「最後まで心を一つに日積っ子」を実践しようと身をもって全校を引っ張る6年生の姿からは、リーダーとしての自覚と責任感がぐんぐん芽生えてきていることが感じられ、頼もしく思いました。これからの成長がますます楽しみです。

「行事を通して子どもは育つ」と言いますが、目標をもたせ、役割や任せる場を与え、思うようにいかない経験も含めて自分たちで試行錯誤させながら取り組ませることで、子どもたちの自信や主体性が育まれていくことを改めて実感することのできた運動会でした。

参加してくれた中学生のみなさんも、準備や演技のサポートなどを進んで行い、小学生にとってあこがれの存在である中学生が先輩としてカッコいい姿を見せてくれました。

八朔踊り振興会の皆様には、本番までに八朔踊りや太鼓を教えていただきました。地域に受け継がれている伝統に触れ、地域みんなで輪になって踊る楽しさを味わうことができました。

保護者や地域の皆様には、早朝よりグラウンド整備や会場準備をしていただきました。また、競技にも参加していただき、一緒になって楽しむことができました。

多くの皆様の応援やご支援のおかげで、心温まる、笑顔あふれる運動会になりました。これからも、日積小学校が、地域の皆様が「心を一つに」してさらに絆を深める場となりますよう、教職員一同尽力して参ります。

校旗を先頭に入場



開会宣言

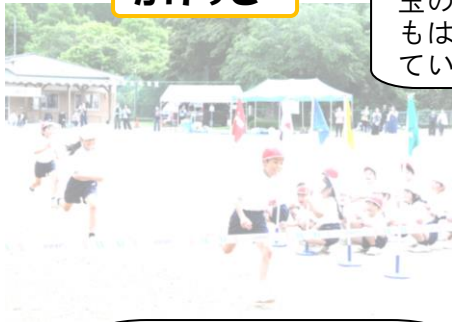


聖火入場



昨年度の団長から本年度の団長へ聖火が渡されました。

かけっこ



玉の片付け競争
もはりきってし
ていました。

玉入れ



大玉ころりん



赤も白も、団長を中心
に、心を一つに力いっば
いやり切りました。

応援合戦



今年は、異学年で
ペアを組んで行
いました。



会場中が園
児さんから
元気もら
いました。

風にんじゃ!



つなひき



保護者や地域のみな
さん、中学生も参加して
盛り上がりました。

魚つり競争



ひづみ万博 2025



カードの指令に沿っ
て、特産品のプラカー
ドをつけた地域の方
とふれあいました。

八朔踊り



みんなでひとつの輪
になり、地域に受け
継がれる八朔踊りを
楽しみました。

The unicycle 2025



練習の成果を発揮して
技を成功させました。

全校リレー



バトンを繋いで
最後まで全力で
走りました。

得点発表

